

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

大洗燃料研究棟汚染事故により、地元の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、ご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

これまで、新しく判明した事実や対応状況等について「日報」にてお知らせしてまいりましたが、事故後約2カ月が経過し、お知らせする内容も分析・調査の結果になる等、新しく判明する事実等の数や頻度が変わってまいりました。

つきましては、8月より、原則として「週報」の形式にて当該週の状況等についてお知らせすることといたします。

初回週報は、8月4日（金）に発行する予定です。よろしくお願いいたします。

7月28日（金） 日報【実績】	内 容
現場復旧の状況	<p>○108号室（汚染事故発生箇所）の現場復旧に向けた措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フード*1（H-1）内の除染を実施しました。 ※ 作業内容の詳細は、 <ul style="list-style-type: none"> ➢ フード（H-1）の汚染検査・除染作業及び整理作業 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/072101.pdf をご参照ください。 *1 フード；非密封の放射性物質を用いた実験などを行う場合に、作業員及び環境への放射性物質による汚染等を防止するための局所排気装置。
原因究明の状況	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料研究棟の貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続して行っています。8月前半を目途にその結果を取りまとめ、今後の貯蔵容器の点検方法等の対策の検討に反映する予定です。 <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核燃料物質と混合したエポキシ樹脂の放射線（アルファ線）分解によるガス発生現象に関して、長期間の挙動を模擬するため、分解による樹脂の重量減少と密閉状態での内圧変化の測定を継続して行っています。8月下旬までに得られたデータを、樹脂製の袋の内圧上昇の評価に反映する予定です。

<p>被ばく評価の状況</p>	<p>○被ばく評価（バイオアッセイ協力他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質の摂取に至った要因事象の調査のため、108号室内で採取したスミヤろ紙のSEM（走査電子顕微鏡:Scanning Electron Microscope）観察を、照射燃料集合体試験施設（FMF）において行っています。 ・また、上記要因事象の調査のため、作業者が装着していた半面マスクに付着した核種の分析を照射燃料試験施設（AGF）にて実施し、引き続き、固体廃棄物前処理施設（WDF）において分析を実施する予定です。 <p>※ 作業内容の詳細は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 燃料研究棟で作業者が着用した半面マスクの施設内搬入、核種分析及び引き渡し作業 http://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/072702.pdf ➤ 燃料研究棟で作業者が着用した半面マスクの廃棄物処理) http://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/072703.pdf <p>をご参照ください。</p>
<p>その他 (外部対応など)</p>	<p>○作業員の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量研放医研に入院していました3名は全員退院しました。なお、作業員5名の体調に特段の変化はありません。 <p>○外部対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力規制庁と定例面談を行い、以下の事項について説明しました。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ フードの除染作業の実施状況について ➤ 照射燃料集合体試験施設（FMF）におけるSEM観察の実施状況について ➤ 半面マスクの照射燃料試験施設（AGF）における核種分析の実施状況について ・原子力規制庁に対し、108号室の汚染検査・除染作業計画書について説明しました。